

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 14 日(2022.10.14)

【公開番号】特開 2022-111045(P2022-111045A)

【公開日】令和 4 年 7 月 29 日(2022.7.29)

【年通号数】公開公報(特許)2022-138

【出願番号】特願 2021-174535(P2021-174535)

【国際特許分類】

H 0 5 K 1/02(2006.01)

G 1 1 B 5/60(2006.01)

G 1 1 B 21/21(2006.01)

H 0 5 K 3/44(2006.01)

10

【F I】

H 0 5 K 1/02 P

G 1 1 B 5/60 P

G 1 1 B 21/21 C

H 0 5 K 3/44 Z

【手続補正書】

20

【提出日】令和 4 年 10 月 5 日(2022.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属支持基板と、絶縁層と、導体層とを、厚さ方向一方側に向かってこの順で備え、  
前記導体層が、少なくとも一つの端子部と、当該端子部から延出する配線部とを含み、  
前記金属支持基板が、当該金属支持基板を前記厚さ方向に貫通し且つ前記絶縁層を介して前記端子部に対向する開口部を有し、

前記開口部が、前記厚さ方向一方側の第 1 開口周端縁と、前記厚さ方向他方側の第 2 開口周端縁とを有し、前記厚さ方向の投影視において、前記第 2 開口周端縁は、前記第 1 開口周端縁の外側に配置されて当該第 1 開口周端縁に沿って延び、  
前記投影視において、前記第 1 開口周端縁の全部が、前記端子部の内側に配置されているか又は外側に配置されており、前記第 2 開口周端縁の全部が、前記端子部の外側に配置されている、配線回路基板。

【請求項 2】

金属支持基板と、絶縁層と、導体層とを、厚さ方向一方側に向かってこの順で備え、  
前記導体層が、少なくとも一つの端子部と、当該端子部から延出する配線部とを含み、  
前記金属支持基板が、当該金属支持基板を前記厚さ方向に貫通し且つ前記絶縁層を介して前記端子部に対向する開口部を有し、前記端子部に対して 2 以上の開口部は対向せず、  
前記開口部が、前記厚さ方向一方側の第 1 開口周端縁と、前記厚さ方向他方側の第 2 開口周端縁とを有し、前記厚さ方向の投影視において、前記第 2 開口周端縁は、前記第 1 開口周端縁の外側に配置されて当該第 1 開口周端縁に沿って延び、

前記第 1 開口周端縁が、前記投影視において前記端子部の内側に配置されている第 1 部分と、前記投影視において前記端子部の外側に配置されている第 2 部分とを含む、配線回路基板。

【請求項 3】

50

前記第 2 開口周端縁が、前記投影視において前記端子部の内側に配置されて前記第 1 部に沿って延びる第 3 部分を含む、請求項 2 に記載の配線回路基板。

【請求項 4】

前記第 2 開口周端縁が、前記投影視において前記端子部の外側に配置されて前記第 1 部に沿って延びる第 4 部分を含む、請求項 2 に記載の配線回路基板。

【請求項 5】

前記導体層が複数の前記端子部を含み、前記開口部が、前記絶縁層を介して前記複数の端子部に対向する、請求項 1 から 4 のいずれか一つに記載の配線回路基板。

【請求項 6】

前記開口部が、前記第 1 開口周端縁と前記第 2 開口周端縁との間に配置されて外側に膨らむように湾曲している湾曲壁面を有する、請求項 1 から 5 のいずれか一つに記載の配線回路基板。 10

【請求項 7】

前記投影視における前記第 1 開口周端縁と前記第 2 開口周端縁との間の離隔距離が  $20\text{ }\mu\text{m}$  以上  $120\text{ }\mu\text{m}$  以下である、請求項 1 から 6 のいずれか一つに記載の配線回路基板。

【請求項 8】

前記金属支持基板が  $20\text{ }\mu\text{m}$  以上  $250\text{ }\mu\text{m}$  以下の厚さを有する、請求項 1 から 7 のいずれか一つに記載の配線回路基板。

20

30

40

50